

騙されていませんか？

第25回 高齢者等を狙った「投資」トラブル！

投資トラブルの手口は！

これまでに、未公開株や社債、投資トラブルにあった消費者や高齢者をターゲットにイラク通貨（イラクディナール）スーダン通貨（スーダンポンド）を買わせるものです。勧誘の方法としては、電話勧誘や戸別訪問、ダイレクトメールなどです。

手口は、「今買えば、儲かる」とか、業者の勧誘後に別の業者が「購入すれば、高値で買い取る」と消費者の投資欲をおおっています。過去に投資トラブルにあった消費者に被害回復をうたって契約させるなど、未公開株のトラブルと同じ手口が見られます。

換金が困難！

イラクディナールやスーダンポンドは、米ドルやユーロ

などの通貨とは異なり、国内では極めて取引がしにくい通貨です。円に換金しようとしても、取り扱う金融機関がほとんどありません。

高額で買わせる！

相談事例をみると、25,000ディナール紙幣1枚を10万円で購入させるなど、業者が暴利をむさぼっています。

海外からイラク通貨を持ち込んだ場合、関税を支払う時に使われる為替レートでは、100ディナールで約8円です。このレートで計算すると、25,000ディナールは日本円で約2,000円と言う事になります。

海外通貨の注意点！

①「儲かる」「いつでも両替

できる」と言われても安易に儲け話に飛びつかないようにしましょう。（インターネット上の広告にも注意が必要ですよ）

②高齢者や過去にトラブルにあった人は特に被害を回復すると言葉に乗りやすいので注意が必要です。

③他人が知り得ない、過去の株や債券の購入情報について知っているような業者の場合には、複数の業者が共謀して消費者を騙そうとしている可能性があります。

少しでも不審に思ったなら、早めに消費者センターに相談しましょう。

お問い合わせ先

養父市消費生活センター
（☎662-3170）

まちの文化財 ⑦④

池田草庵の立誠舎



整備され当時の姿に甦った立誠舎（八鹿町諏訪町）

立誠舎は但馬地方にある最も古い学校建築です。ここで江戸時代に池田草庵が漢学を教えました。

今回、屋根、土台、壁を修理して事務室を整備。屋根の瓦は大正時代に作られた八鹿焼きの瓦を保存して使用しました。

当時の姿に蘇った立誠舎は地域の文化を活かした交流と学習の拠点施設となります。11月28日に八鹿地区自治協議会準備会が改修工事竣工報告を行いました。

立誠舎は、八鹿の町並みがよく見える諏訪町の小高い台地にあります。もともと石門心学を学んだ八鹿の西村潜堂が、立誠

舎と名づけて八鹿の青年を集めて講義をしたのが始まりです。天保14年（1843年）西村潜堂と親交のあった池田草庵が京都から八鹿に帰って、立誠舎という名前を受け継いで漢学塾を開きました。31歳のことです。

その後、弘化4年（1847年）に生誕地である宿南に青谿書院を建設して移るまでの4年間に63人が入門しました。後に男爵となった北垣国道も立誠舎に入門した1人です。

立誠舎は平屋建てで、建物の側面に玄関があり、6畳と3畳が各2部屋あります。この間取りは青谿書院と多くの点が共通しており、青谿書院の原型は立誠舎であることが分かりました。

池田草庵の門下生は、明治時代に山陰義塾や県立蚕業学校（後の県立八鹿高校や県立但馬農業高校）の設立に奔走しました。つまり立誠舎や青谿書院という教育の源泉によって、こうした学校が養父市に開かれたとも言えます。

立誠舎や青谿書院は、大阪にある緒方洪庵の適塾、萩にある吉田松陰の松下村塾にも並ぶ重要な教育文化遺産です。

今後、立誠舎は「平成の寺子屋」として利用されます。

（教育委員会社会教育課）

「健康」 ワンポイント アドバイス



保健師
原 照美

「家庭血圧」を測り ましょう

多くの方が経験あるかと思いますが、医療機関や健診で測定する血圧と家庭で測定する血圧にはギャップがあります。一般的には医療機関等で測定した血圧の方が高く、「白衣高血圧」ともいいます。

しかし、最近では医療機関で測る血圧の方が低いケースもあることが分かって来ました。このタイプの高血圧を「仮面高血圧」といいます。その

ため、家庭で測る「家庭血圧」が重要とされてきています。

家庭血圧については日本高血圧学会では、135/85 mmHg以上を高血圧とし、125/80 mmHg未満を正常血圧の基準としています。

血圧は夜は低く、活動開始に備え徐々に上昇してきます。これは生理的な反応ですが、普段から血圧が高めの人にとつて、朝は早朝高血圧に注意が必要な時間帯です。早朝高血圧は、脳卒中や心

筋梗塞などの心血管系の合併症が発生する割合がほかの時間帯に比べ朝が約3倍も多く発生しています。家庭で起床から1時間以内の測定は早朝高血圧の発見に役立ちます。

家庭血圧の正しい測り方

- 朝は起床後1時間以内（排尿後、食事、服薬前）に
- 夜は就寝前の安静時
- 測る腕を決める
- いすに座った状態で、血圧計と心臓を同じ高さにする
- 腕を締め付けない服でリラックスタイプで測る

● 血圧の値を記録する（どんなときに血圧の変化があるのかよく分かるとともに、受診時にも利用できます）

【お問い合わせ先】

市役所健康課

☎662-13167



こんにちは、地域包括支援センターです



地域のみんなが高齢者の暮らしを見守りましょう 高齢者虐待防止は 小さな気づきから

平成18年より「高齢者虐待防止・養護者支援法」が施行されています。

高齢者本人に対して大きな声で怒鳴ったり、暴言を言ったり、叩いたりなど高齢者に適切でない対応は、特別な家庭のみで起きるのではなく、認知症の進行や介護疲れなどにより、どこの家庭にも起こりうる「身近な問題」です。

認知症高齢者の様々な症状も周囲の人の理解と助けがあれば、

家族の心身の負担も随分軽減されます。

近所の高齢者を優しく見守り、声をかけるなど、地域から孤立させない働きかけとして、普段の生活の中で「あいさつ」や「見守り」など気軽にできることから始めてみてはいかがでしょうか。すべての人が安心して暮らせるように、虐待を未然に防ぎ、助け合える地域づくりを進めていきましょう。

そして、虐待としてではなく、「近所の高齢者や家族が困っておられる様子だ。悩んでいる様子だ。」といった些細な気づきでも、センターに連絡いただければ、相談に応じます。

もちろん連絡された方の情報は守られますので、ぜひ、あなたの気づきをお知らせください。ほんの小さなサイン（いつもと違う様子）に気づくことが、高齢者やその家族の生活を守ることにつながります。

【お問い合わせ先】

市役所介護保険課

地域包括支援センター

☎662-17603